

選挙公報

校区選挙区(定数5人)
さいたま市選挙管理委員会

一人ひとりの幸せを大切にしたい

だから私は動く。
だれよりも。新人

政治は、まっすぐに、正直に、建設的に。

私の主眼
3つの視点
公平
公正
成長
経済
適正な
税の再配分年配者に優しく、子どもに夢を、
そして若者には希望を持てる社会を！

- ・校区のまちづくり 田島団地の再生を見据えて、地域全体に目配りしたプランの取れたまちづくりを目指します。
- ・徹底的な子育て支援 さいたま市は全国政令指定都市の中で最も整備が遅れています。保育環境や学童保育の整備・充実を図ります。
- ・医療・介護・福祉 人の暮らしの根幹です。家庭で介護する方の負担も配慮した、思いやりのある人に優しい改革を進めていきます。
- ・水道民営化反対 民営化を導入した諸外国で失敗例が相次いでいます。同じ様な事が起こらないよう、市への導入を阻止します。
- ・水害対策 校区の一部は水害への備えが必要な地域があるにも関わらず、対策は万全ではありません。現状理解の徹底と対策の再考をします。
- ・民泊の禁止 既に犯罪が多発しており、全国の多くの自治体で条例で禁止や規制をしています。さいたま市でも禁止条例・規制強化を進めます。
- ・生活保護の見直し 受給者と同等程度の暮らしには税込み年収355万円(3人家族の一例)が必要との試算もあります。外国人にも支給されており、適正化を図ります。

保守系
無所属

新人

くすだ しんご

プロフィール
現在47歳。妻、小学1年生の息子、愛犬、愛猫、愛鳥、観葉植物などに囲まれて暮らす。大のスポーツ好き。
アイスホッケー埼玉県少年・青年選抜・二回の団体出場。趣味はガーデニング、日曜大工。産むの師は「人事を尽くして天命を待つ」。埼玉栄高校卒、カナダリッチモンドインターナショナルカレッジ(国際経営学部)、会社員を経て会社経営者、新聞社社長秘書、国会担当政治記者、衆参国会議員秘書(国土交通副大臣秘書・内閣府副大臣秘書)くすだ
しんご

無所属

市民相談1000件
皆さまの声をカタチに!!

にしざわ

西沢れいこ

公明党3つの無償化を実現!!

- ① 幼児教育の無償化!
- ② 私立高校の無償化!
- ③ 高等教育の無償化!



西沢れいこが推進!!

- ① 60ヶ所以上のカーブミラー取付
- ② 25ヶ所以上の歩道補修整備
- ③ 20ヶ所以上の街灯設置

●議会改革を実現!

◆平成31年度から政務活動費は領収書をインターネット公開をします!

■さいたま市の渋滞を解消します

◆首都高速湾玉大宮線の圏央道への早期延伸を実現します!
また、首都高速湾玉新都心の東北道への延伸の早期具体化を目指します。にしざわ
西沢れいこ
公明党公認プロフィール
●昭和32年生まれ
創価大学文学部卒、同法科大学院修了
●法務博士
●平成27年初当選(現1期)
●文教委員会副委員長
●大都市市財政将来ビジョン特別委員会副委員長
●田島団地在住
●家族：夫・長男
http://r-nishizawa.net/今からでも中止できる
消費税10%
STOP

大もうけをしている富裕層と大企業が応分の負担をすれば、社会保障の財源はできる。

水道会計は毎年黒字、内部留保も113億円。引き下げ可能。
川越市より1万4千円高い
水道料金の引き下げを安倍政権が直上げ計画
国保税の引き下げを
さいたま市が計画している今後7年間連続値上げを止めさせ、公費1兆円の投入で、サラリーマン並みに引き下げを。日本共産党
くぼみき
さいたま市議会議員障がいがあっても
年をとっても
何があっても

安心して暮らせるさいたま市をめざします

- コミュニティバス①30分に1本の運行②どこまで乗っても100円③土日運行
- 子どもの命を虐待から守ります／児童相談所の職員増／一時保護後の密な家庭訪問
- 犯罪被害者支援、DV被害者支援
- 動物の虐待ゼロ、殺処分ゼロ
- 学校のトイレの改修で気持ちよく
- 公民館にエレベーターを／高齢者が集える場所づくりを／ベンチをパスロータリーなどに
- 特別天然記念物サクラソウ保全

若者を戦場に送る9条改憲 No!
安倍政権を倒す「市民と野党」の共闘に本気です!

住みやすい校区への課題

校区の最重要課題のひとつは、中浦和駅北口周辺のまちづくりです。鴻沼川が流れており、洪水で氾濫するおそれもあり、駅周辺も市街化調整区域で土地利用が制限されています。インフラが整備され商業施設や公園など便利にしやすいところある中浦和駅南側に実現すれば、鴻沼川や埼京線西側の緑地空間と潤いのある環境空間と調和し、魅力的な校区の玄関口になります。また私の家族も含め保育施設を見つけていることが困難で苦労しています。待機児童問題、またいわゆる「3歳の壁問題」は大きな課題であると見直します。こうした身近な、さまざまな課題に挑戦し、将来にわたって誇ることのできる「住みやすい校区」を実現していきたいと考えています。

●政策01 まちづくり 中浦和駅北口周辺のまちづくりを進めます。

JR中浦和駅北口周辺エリアは、近くに鴻沼川が流れているため、万一氾らんしたときに備え、土地利用が制限され、市街化調整区域となっています。にぎわいと潤いのある中浦和駅北口を実現するため、商業施設や公園を整備するとともに、危険な駅周辺道路の整備を行います。

●政策02 防災 災害に強い校区をつくります。

昨今、頻発する自然災害や、予想される大地震に備え、自衛隊の出動要請などさいたま市の災害時の備えを強め、また「国土強靱化計画」など国と連携し力強い防災対策を進めます。区内ほぼ全域が低地のため、洪水と地震で避難場所が異なるという校区特有の問題を踏まえ、災害時の避難に混乱が起きないように、避難計画をあらためて見直します。

●政策03 子育て支援 待機児童問題を解消します。

ナーサリールームや家庭保育室など小規模の保育施設を含め、保育施設を充実させ、保育の受け皿を増やします。また市内の小規模の保育施設と認可保育所や幼稚園等との連携を密にし、3歳になると転園する必要性に迫られ、子どもを預けられなくなってしまう、いわゆる「3歳の壁」問題が起こらないよう対処します。

●政策04 地域づくり 自治会活動を強力に支援します。

地域のかねである、自治会活動を支援します。これまでも自治会に対する補助金の増額を実現しましたが、各申請にかかわる事務手続きの負担を軽減します。また地域の拠点である自治会館の整備に全力を注ぎ、未整備の自治会館は早急に建設し、また建て替えや改修の際の補助金を確保し、自治会活動をバックアップします。

●政策05 連携 国・県・市の連携を進めます。

これまで、土中学校の進学の安全確保のため、国と国道17号バイパスの歩道橋の整備や、埼玉県とは学校周辺道路に関する警察協議など連携をとり、進学の安全を図りました。同じ自民党として地元選出の国会議員、県議会議員と緊密な連携をとることで、こうした仕事が可能になりました。中浦和駅北口周辺のまちづくりも、こうした連携が不可欠と考えています。

島崎ゆたかの経歴 プロフィール

氏名	島崎 豊(しまざき ゆたか)	昭和45年2月15日浦和市(現さいたま市)西郷に生まれる	
昭和51年3月	西郷ひわく幼稚園卒園	平成5年4月	埼玉新聞社入社(ふるさとづくり支援室長など)
昭和51年4月	浦和市立土小中学校入学	平成18年4月	埼玉新聞社退社(自己都合)
昭和57年4月	私立日本大学附属嵐山中等学校入学	平成21年	衆議院議員秘書
平成5年3月	中央大学文学部哲学科卒業	平成23年5月	さいたま市議会議員(校区)

現在の主な役職 ○さいたま市議会議員(二期目) ○さいたま市議会 議会運営委員長 ○自民党さいたま市議団 政調会長
○自民党さいたま市議団支部 幹事長 ○自民党さいたま市議団支部 支部長 ○新聞サッカースポーツ少年団 団長
家族 妻と娘(1歳6ヶ月)の3人家族です 趣味 車/バイク/ビリヤード/映画鑑賞/インターネット

島崎ゆたか
自由民主党公認

さいたま市選挙管理委員会では、投開票速報を次のとおり行いますのでご利用ください。

投票速報 4月7日(日)午前9時頃から
開票速報 4月7日(日)午後10時頃からホームページ <https://www.saitama-senkyo.com/>

選挙公報

(2)
平成31年4月7日執行

桜区選挙区(定数5人)
さいたま市選挙管理委員会

さいたま市議会議員一般選挙

子どもに夢を!
高齢者に安心を!
桜区に活力を!

誰もが誇れるふるさと「さいたま市」を目指して



「夢」あるまちづくり政策

「憩い」「潤い」のあるまちづくり

- 荒川河川敷の公園群の回遊性を向上させるとともに、誰もが散策や休憩を楽しめる水辺環境の整備
- 未利用地を活用した街区公園や多目的広場など市民が憩える場の整備および緑地の保全
- 公園利用者の利便性向上に資するPark-PFI制度の導入

誰もが安心して暮らせるまちづくり

- 高齢者が元気に暮らせるための地域包括ケアシステムの構築
- 特別養護老人ホームなど福祉施設の整備拡充
- 24時間365日在宅医療・看護制度の整備と職員の処遇改善による人材確保
- 災害時に命と暮らしを守る地域防災力の強化向上

人と環境に優しいまちづくり

- 自転車を活用したまちづくりを推進するための拠点施設(サイクルパーク)の整備
- 交通弱者に優しいコミュニティバスの充実
- 誰もが参加できるユニバーサルスポーツの推進

次代を担う子どもの「夢」を育むまちづくり

- 「学びのチカラ日本一」に向けた学校教育環境の充実および地域・家庭との連携の強化
- 「児童虐待ゼロ」、「いじめゼロ」の実現に向けた取組の強化
- 「子どもの貧困」対策の実施による格差の拡大防止
- 「待機児童ゼロ」に向けた保育園、放課後児童クラブの増設

立憲・国民・無所属の会さいたま市議団

PROFILE
1960年1月 浦和生まれの浦和育ち
山羊座 O型 さいたま市桜区町谷在住
衆議院議員の公設第一秘書として6年間勤務
2007年さいたま市議会議員選挙にて初当選
現在3期目

さかもと
阪本かつみ

声を力に 未来を考え、本気で挑む!!

- 大久保公民館のエレベーター設置決定!!
- 桜区と中央区を繋ぐ、新交通手段が進行中!!
- 都市計画道路や下大久保交差点の改良整備!!
- 埼玉大通りの抜本的な歩道整備の推進!!
- 水路等の暗渠化(蓋かけ)を進める!!
- 埼玉県衛生研究所跡地の有効活用!!
- 田島ヶ原サクラソウの保存管理を進める!!

市議会議員4年間で土橋ゆうじが進めてきた主な事業

飛躍と先進。桜区を動かす。

- 保育環境の改善と待機児童の解消を図ります。
- 新たな時代に適応した教育環境整備と地域特性にあった学校運営の体制を構築していきます。
- 児童生徒数のバランス改善のため、通学区域の見直しを検討していきます。
- 若者、女性、障害者や高齢者の方々にとって働きやすい環境の整備をしていきます。
- 結婚、妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援を推進していきます。
- 農業の安定的な継続と農地の有効活用を推進していきます。
- 「地域包括ケアシステム」の拡充と高齢者に優しい街づくりを推進していきます。

皆様と共に考え、共に学び、共に行動していきます。



さいたま市議会議員
土橋ゆうじ

プロフィール
1981年(昭和56年)1月10日生まれ
○国立政法大学 工学部建築学科
○サラリーマンを経て、その後、埼玉県議会議員秘書、衆議院議員公設秘書を8年、総務大臣(衆議院議員 新藤兼孝)の秘書を2年にわたり勤める。
○2015年 さいたま市議会議員 初当選(5,569票)
○2017年 青少年育成大久保地区会 会長(現職)
○モットー 「一生燃焼 一生感謝 一生感謝」

自民党公認

4月7日(日)は、
さいたま市議会議員一般選挙の投票日です。
投票時間 午前7時から午後8時まで

【期日前投票のご案内】

投票日当日、仕事や旅行などで投票所へ行くことができない見込みの方は、選挙人名簿に登録されている区の選挙管理委員会が設置する期日前投票所で、投票日前に投票をすることができます。

投票所整理券がお手元に届いている場合は、投票所整理券裏面の宣誓書(兼請求書)に必要事項をご記入の上、以下の期日前投票所へお持ちください。

場 所	桜区役所(1階地域活動コーナー)	(臨時)土合支所(1階会議室)	(臨時)イオンモール与野(1階通路)
期 間	3月30日(土)から4月6日(土)まで	3月30日(土)から4月6日(土)まで	4月4日(木)から4月6日(土)まで
時 間	午前8時30分から午後8時まで	午前11時から午後7時まで	午前11時から午後7時まで

注意事項

土合支所の投票所の入口は、支所入口ではなく、駐車場側(庁舎西側)にあります。なお、駐車できる台数が限られています。イオンモール与野は投票開始直後の時間帯や最終日(土曜日)は大変混み合うことが予想されます。あらかじめご了承ください。

※投票日には18歳を迎える方で、期日前投票をする日現在17歳の方は、不在者投票をすることになります。この場合、選挙人名簿に登録されている区の選挙管理委員会(区役所総務課)へお越しください。上記の期日前投票所では、投票することができませんのでご注意ください。

詳しくは、桜区選挙管理委員会(☎048-856-6124)又はさいたま市選挙管理委員会(☎048-829-1773)へお問い合わせください。